

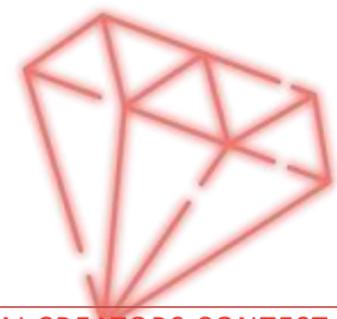
Micro加工技術コンテスト

Expert Bisai Creators **Contest** 2024 **WEB投票** 結果

「微細加工技術」が新領域の市場を創造するために
～“微×美”が生み出す驚きを世界に発信！～

総投票数：95票

1インチ 一般部門



1インチ 一般部門

WEB投票3位 (23票)



ニッシン・パーテクチュアル株式会社

Paint it 「BLACK」 Again !!

～ブラックだったあの頃よ再び～



WEB投票3位 投票コメント



ニッシン・パーテクチュアル株式会社

Paint it 「BLACK」 Again !!

～ブラックだったあの頃よ再び～



凸凹で色を表現するのが素晴らしい

今の時代にはブラック残業が必要だと共感したから

漆黒を塗装レスで行う技術の凄さは驚きです

黒い不思議とユニークさ

色を使わずに黒くしているのがシンプルにすごいと思ったから

削るだけで漆黒の色が出せるのが凄い

アクセサリとして販売していたら買うと思ったから。

加工技術だけで漆黒を得るのはすごいと感じました。

黒色を塗料以外で表現する斬新さ・アイデアに惹かれた。PR文もユニークでした。

漆黒の指輪のインパクトがあって、塗料を一切使わないでどんな技法なのか気になりました。

加工の凹凸で色を出しているのがすごい

こんなリングが欲しかった

就活生の心に響きました！！

微細構造により光の反射率をゼロとするアイデアとその実現。

コンセプトが面白いと感じた為

塗料でなく物理と光の法則?で黒になっている??というのに好奇心が湧きました。実際に見てみたい!

最も黒い黒の指輪が欲しいので、この方向で頑張してほしいから。

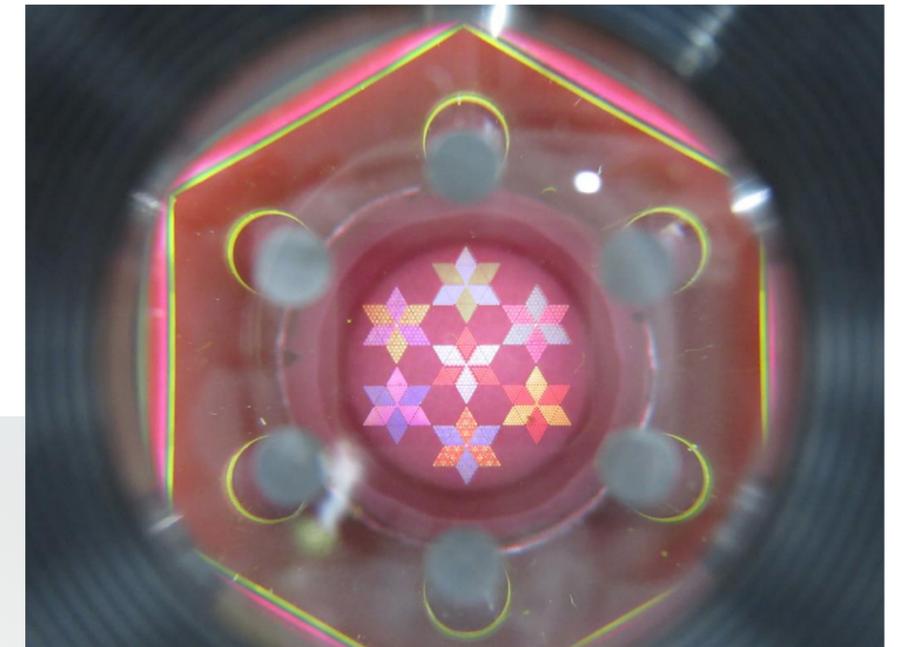
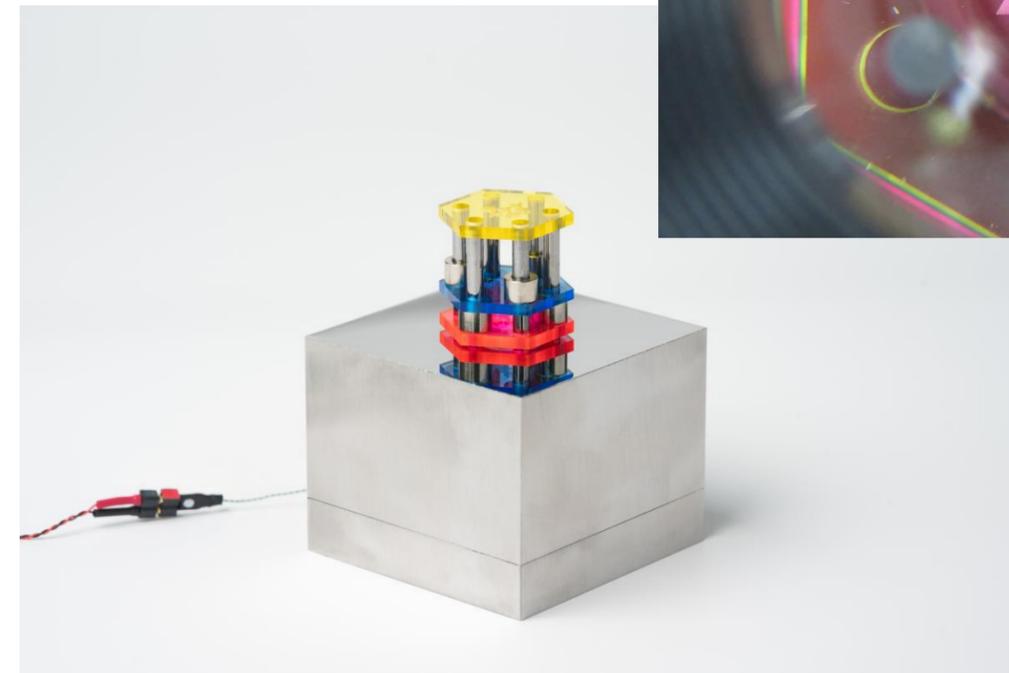
シンプルだけど美しい

一番わかりやすかったから

WEB投票2位 (27票)

株式会社MOLDINO

カラフルヘキサゴンスター

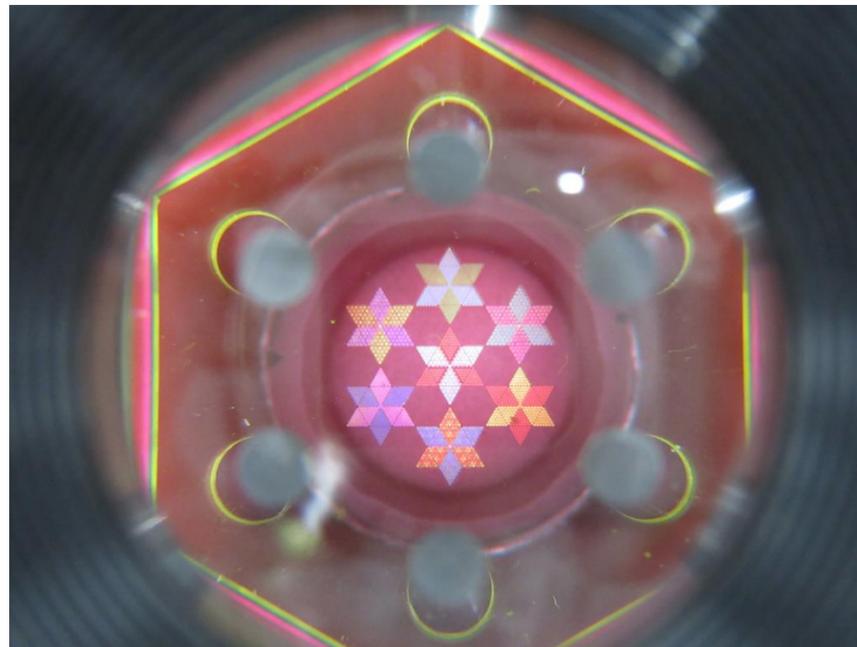


WEB投票2位 投票コメント



株式会社MOLDINO

カラフルヘキサゴンスター



カラフルで見た目にも楽しい

工具径Φ0.1という極微小で難易度の高い加工を採用しているため。

単なる微細形状加工ではなく、色の組合せによる見た目を楽しませる工夫が良い

発想が純然たる微細加工だと感じました。

穴加工で色が変わるように見えるというアイデアがおもしろい。微細だけにとどまらない。

六角形の構造に調和を感じます。

3色のアクリルを重ねるといふ他に無い発想だから

発想、色使いどれをとっても素晴らしい

カラフルな色彩に、見た瞬間から魅了されました！

ただ技術を使うだけでなく、見るものが楽しい工夫をしていることがコンテストの目的に沿っていて良いと感じた。

デザインがカラフルで綺麗、正に見ていて楽しい気分になれたから。

美x微が素晴らしい

肉厚0.01mmはすごい技術力だと感じた

最も美しいと感じた為。

美しさの裏に遊び心を感じたため

キラキラしていて綺麗だから 光をうまく操っている。

アクリルは自分でもよく使っている素材なので、ここまでやれるすごさを実感できたので。

小さくて光なのにひし形の各辺がなまっておらず角ばった頂点が正確に出ている、綺麗だと感じた

アイデアが面白い

WEB投票1位 (29票)

株式会社 キャステム

魅惑的な光を放つ壊れかけの
メカ ドラゴン



WEB投票1位 投票コメント



株式会社キャステム

魅惑的な光を放つ壊れかけの
メカ ドラゴン



立体造形が素晴らしいと感じたから

コンセプト、形状、発色、すべてがかっこいい！パツと目を引いたので！

細かいところまで再現されている

色が綺麗で形も繊細

見たときにこんな微細に切削が出来ることに驚いた

繊細さの中の可憐な輝き

硬いチタン材かつ小さな製品を切削でここまで表現力を保って削ることができる点

精密な造形とデザイン 小さいながら迫力がある

加工技術も凄まじいがデザインも凄まじいです

色味だけでなく、細かい彫りがすごいです。

スチームパンク感のある作品が好きで、ドラゴンという凶暴な存在なのに繊細な作業で作り出されたいい意味のアンバランスがとても素敵です。

ドラゴンの鱗の表現が素晴らしい

デザイン、フォルム、ペアでつけることができるという遊び心。素材的にも光の当たり具合での煌めきにも、何よりも欲しいと思えたので、こちらを選びました。

デザイン性がとっても素敵で、一目惚れしたからです！こんなきめ細かく作れるのが凄いです...！

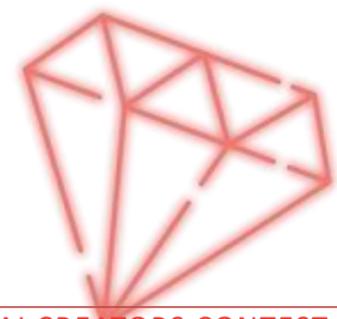
加工機でつくったものとは思えない程の形状の自由度

羽の部分を作るのは、難しいところだが、左右多少につくられてて素晴らしい。

二つの作品が一つになる事で美しさが増す点

形も色も作るのが大変そうだった

1 インチ 学生・新人部門



1インチ 学生・新人部門

WEB投票3位 (10票)



大分工業高等専門学校
生産システム研究室

「ものづくりの基礎が学べる」
猫のキーホルダー



WEB投票3位 投票コメント

大分工業高等専門学校
生産システム研究室

「ものづくりの基礎が学べる」
猫のキーホルダー



ワーク保持などどうやったのかと色々想像させられたため
かわいい

黒染めとの組み合わせと独自のCAM
独自のCAMがすごい

QRコードを高度の高いもので作る発想

QRコードを加工する繊細な技術がすごいと思いました。

アイデアと発想が面白いと思ったから。

自作のCAMの力がすごい

猫がかわいいのと、QRコードを掘るのが難しそうだったから

QRコードを読み取ることができるから



1インチ 学生・新人部門

WEB投票2位 (20票)



ニッシン・パーテクチュアル株式会社

和紙ダイスの奇跡！

微細が止まらない大冒険！



WEB投票2位 投票コメント



ニッシン・パーテクチュアル株式会社

和紙ダイスの奇跡！
微細が止まらない大冒険！



和紙をレーザーで加工できることに驚きました。

紙をフェムトレーザーでこんなに綺麗に加工できる?!という驚きしかないです。

タイトルが面白い!

微細さが伝わりました

ホワイトな職場にあこがれているから

柔らかな和紙に精巧な穴が空けられた姿が綺麗

和紙を選択していること、難しさ、繊細さを感じる

発想が面白い

説明文を読んでコミカルさに惹かれました。和紙にどんな加工をしたのか知りたいです。

和紙?!と驚いた

技術力

和紙のサイコロは面白いと感じた

和紙でサイの目をくり抜くレーザーの加工技術及び、接着剤に最高級の無洗米を活用するクールな発想に痺れました。テクノロジーとライスが融合した見事な作品に仕上がってます。

あえて”和紙”で且つ、しっかり転がる?というところに惹かれました

自鳴瓶と、最後まで悩みましたが、こちらにしました。和紙が素材という点、そして、細かい作業であるにも関わらず、歪んだりしていないため、転がり、行方不明になるという逸話も、心くすぐるところとなりました。

日常に溢れていつサイコロをここまで綺麗にできるのかと感動したから。

実用性が殆どないからこそその新しい「美」を感じた。

1インチ 学生・新人部門

WEB投票1位 (55票)

東京科学大学 (旧：東京工業大学)

ちゃばめ軍団

自鳴瓶 (じめいびん)

～Wish Upon A Star～ Jazz Ver.



WEB投票1位 投票コメント



東京科学大学（旧：東京工業大学）

自鳴瓶（じめいびん）

～Wish Upon A Star～ Jazz Ver.



技術と芸術のコラボレーションが素晴らしい

「じめいびん」なので素晴らしいことが「自明」なので。

最も微細だと感じた為。

1番繊細で美しいと感じた。こんな小さいオルゴールが動くのも驚き。

コンセプトも技術も素敵だと感じた

こんなに細かい部品を小さい瓶の中に作り上げるのがすごい

瓶の中が別の世界のように現代社会と繋がりを感じたため

技術的にどうやって制作したのかも想像できないくらい精密、美しい

なんといっても「美」の部分をかなえていると思ったからです。デザイン性の高さと、小さいからこそ、よりノスタルジックに見えるのもすごく良いと思いました！また、自分で鳴く瓶をこんなに小さく作れるのも驚いたので、実物が見てみたいです！

微細な技術、デザインに惹かれた

1番細部まだ拘っていると思ったため！

コンセプトが明確で、そのコンセプトを実現するためにこの技術を用いる、という必然性があったと思う。

作品の中でも異次元の細かさだと思う。またこの小ささで動きものかつ音が鳴るといって高度なテクニックと豊かな発想を感じる

オルゴールになっていて、機能性もあり細かい

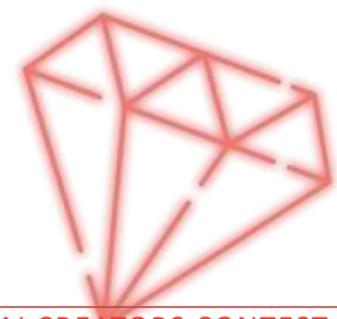
瓶の中で微細なオルゴールで音を奏でるアイデア。

プレゼンも含め、技術力の高さとものづくりに対する思いを強く感じました。

加工と組み立ての両方の技術を示している。

構造も色彩も美しく感じました。

0.1インチ 部門



0.1インチ部門

投票コメント



ニッシン・パーテクチュアル株式会社

究極の『和紙』

～微細加工工業会のロゴを添えて～



小さなものに意匠を施す技術が素晴らしいと感じた
どやって作ったのか是非細かく知りたいと思いました！

エピソード込みで素晴らしい作品

吐息で飛んでしまうほどの微細加工に驚嘆した

米の大きさからすると1センチ四方の和紙ですか？この程度の微細さが日本の技術なんですね！？頑張ってください。。

和紙とは思えないクオリティーです。

和紙から作られているとは思わなかった。本物のお米に見える
息を止めてまで加工をし、実現に命をかけたことが伝わりました。

「微細加工工業会」を体現した作品だと思います。

小さすぎて、ロゴが認識できない出来映えです。どうやって紙を抜いたのか謎です。

作品名まで良い

こんなに小さい中にロゴを入れるのは難しいと思う

展示会で、ルーペで見たいです。ぜひ。

0.1センチでこんなに細かいデザインを作れることに感動しました！

和紙に対してお米の形をしているのが好み。拡大するとなにか模様がみえそうなので、拡大写真もみてみたい

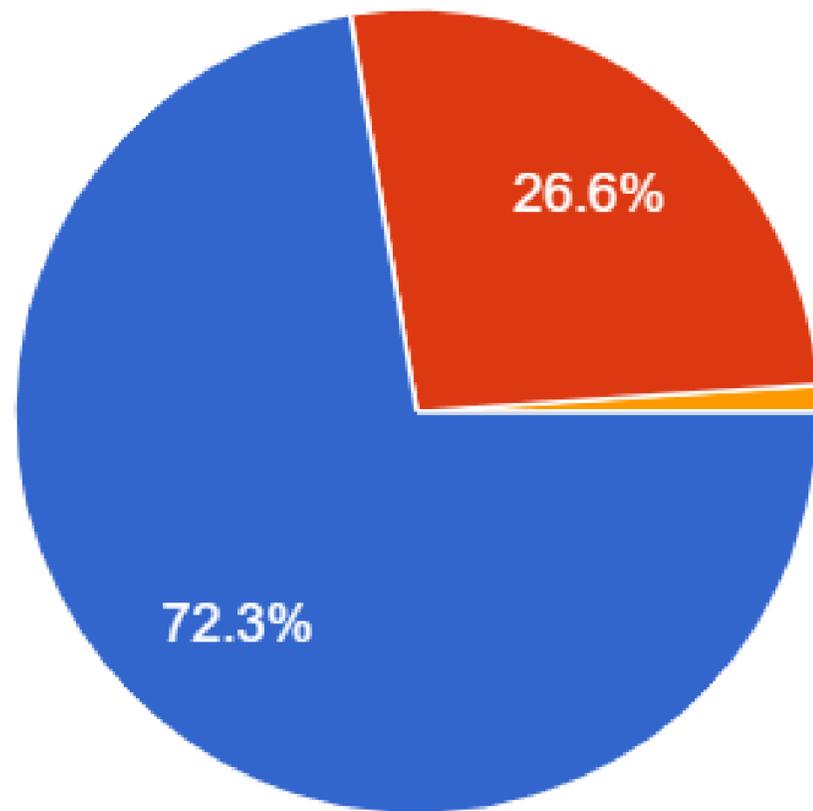
すごい一言。製造工程を動画で見たい。

細かいロゴをこの寸法で表現できる技術力に感銘を受けました。

もはや、画像ではその素晴らしさを感じることは困難です。作業中の酸欠話も素晴らしいです。

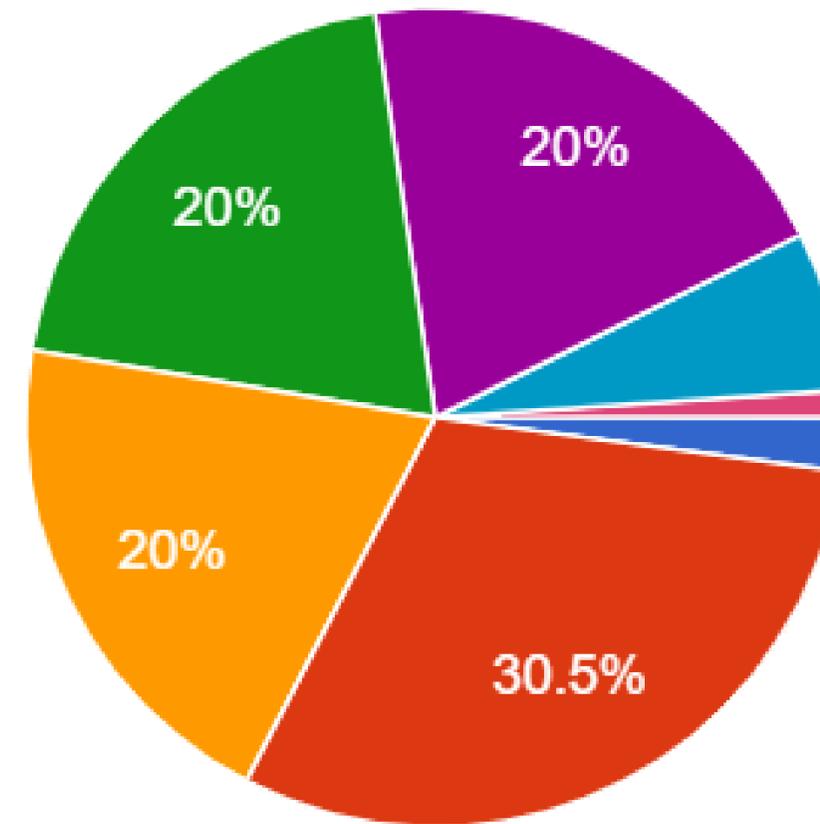
【回答者属性】 回答数：95票

回答者の性別



- 男性
- 女性
-

回答者の年齢層



- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



エントリーいただきました企業と学校の皆様
誠にありがとうございました

EXPERT BISAI CREATORS CONTEST

